



一般社団法人

日本転倒予防学会

(The Japanese Society for Fall Prevention)

超高齢社会に突入した今、当会は健康寿命を短縮させる骨折や転倒の予防をめざしています。アカデミックかつアットホームの精神のもと、多職種連携を大切にしています。どなたでも入会可能です。一緒に活動しませんか。



< 主な活動 >

(1) 学術集会の開催

当会制定の「10月10日の転倒予防の日」の近辺、学術集会を開催しています。

(2) 機関誌、図書その他の刊行

機関誌『日本転倒予防学会誌』をウェブ発刊

転倒に関わる書籍を多数発刊

(3) 転倒とその予防に関する教育・啓発および人材育成

「転倒予防指導士」の育成・認定、「転倒予防推奨活動」の認定

転倒予防に役立つ「推奨品」の認定、「転倒予防川柳」の公募・懸賞

講演、セミナー、フォーラムの開催、転倒予防の啓発標語の作成

(4) その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

学術研究 等

< 当会の歴史 >

1995年 島根県吉田村、1996年 長野県北御牧村におけるフィールドワークにより、「高齢者の転倒が、生活習慣のひずみの結果として生ずる現象として捉えられる」という新たな知見が得られ、高齢者の転倒を予防するためのシステム・プログラムを構築する作業が、東京大学大学院身体教育学講座、東京厚生年金病院及び身体教育医学研究所（東御市）の共同研究グループ内で開始されました。

そうした作業の継続の末、1997年 12月に、東京厚生年金病院健康管理センターに、我が国初の「**転倒予防教室**」が創設され、さらに全国各地で、講義及び実技指導の形での巡回指導「**一日転倒予防教室**」が続けられました。

このような転倒予防に関わる多彩な事業・プログラム、調査・研究等の成果、情報を集約し、意見交換・議論することが、高齢者にとって「安全で効果的で楽しい」内容と方法の確立と普及・啓発につながるものと期待され、2004年 4月、「**転倒予防医学研究会**」が発足し、会員制に移行した2006年の会員数は247名でした。2004年 10月 10日開催の第1回研究集会（京都）には、500名を超える参加者が集まりました。また、専門的指導者の必要から、講義及び実技指導を行う「**転倒予防指導者養成講座**」が整えられました。

それから10年を経て、2014年 4月、「研究会」は、「**日本転倒予防学会**」へ。学会化とともに、「研究集会」は「**学術集会**」へと名を変え、会長、副会長、テーマが定まり、総会も開催されました。「転倒予防指導者養成講座」は「**転倒予防指導士基礎講習会**」へ移行し、認定試験も加わり、「**転倒予防指導士**」認定制度が始まりました。

2022年 4月には、「**一般社団法人日本転倒予防学会**」へと移行し、2025年現在、会員数も増え、活動の幅を広げています。

・ 当会の様々な活動の詳細は、**当会ホームページ**をご覧ください。

<https://tentouyobou.jp/>



・ 入会（個人会員、施設・団体会員）の詳細はこちら
<https://tentouyobou.jp/admission/benefit.html>



・ 「転倒予防指導士」についてはこちら
<https://tentouyobou.jp/instructor/about.html>



・ 転倒予防グッズ「推奨品」についてはこちら
<https://tentouyobou.jp/aboutus/goods.html>



・ 「日本転倒予防学会誌」についてはこちら
<https://www.tentouyobou.jp/jjfp/about.html>



・ 「転倒予防ガイド」についてはこちら
<https://www.tentouyobou.jp/aboutus/27.html>



【会員特典】 以下のコンテンツは、会員様に限り閲覧していただけます

・ 「転倒予防指導士応援エッセイ」についてはこちら
<https://www.tentouyobou.jp/member/192/205.html>



< お問い合わせ先 > 一般社団法人日本転倒予防学会事務局
jimukyoku@tentouyobou.jp / 〒389-0402 長野県東御市布下 6-1